

2 県立病院事業概況

平成 20 年度の事業の概要は次のとおりである。

(1) 診療状況

平成 20 年度に県立病院で診療を行った患者数は、入院が延べ 187,012 人で前年度と比較して 14,928 人(7.4%)減少し、外来は延べ 304,188 人で前年度と比較して 28,999 人(8.7%)減少している。

病院別に見ると、入院では、宮下病院を除く 5 病院で減少している。また、外来ではすべての病院で減少している。

次に、診療科別に見ると、入院では整形外科、皮膚科で増加し、内科外 6 診療科で減少している。また、外来では小児科で増加し、内科外 9 診療科で減少している。

(2) 施設設備の整備

ア 南会津病院の中央監視装置改修工事外 4 病院の庁舎等改修工事を行った。

イ 会津統合病院(仮称)整備造成工事を行った。

ウ 電子カルテシステム、デジタルX線テレビシステム(会津総合病院)、マルチカラーレーザー(南会津病院)、全自動錠剤分包機(矢吹病院)等の医療機器の購入整備を行った。

(3) 収支状況

平成 20 年度における総収益は 11,667,908 千円で、前年度と比較して 946,021 千円(7.5%)の減少となっている。一方、総費用は 13,929,798 千円で、前年度と比較して 638,763 千円(4.4%)減少している。これは、常勤医師の退職、医師の交代など診療体制の変更や薬剤の長期投与の影響などによるものであり、この結果、差引純損失は 2,261,890 千円となり、前年度と比較して 307,258 千円(15.7%)損失増加している。

また、医業収益から医業費用を差し引いた医業損益は 5,018,401 千円となり、損失額は前年度と比較して 283,950 千円(6.0%)増加している。この結果、総収益対総費用比率は 83.8%、医業収益対医業費用比率は 62.6%となっている。

主な費用について見ると、給与費は 8,310,258 千円で前年度と比較して 55,040 千円(0.7%)増加したが、退職手当の増加によるもので医業収益に対する割合では 98.8%となり、前年度より 7.8 ポイント増加している。また、薬品費等の医療材料費については 1,857,281 千円で、患者の減少、南会津、大野病院での院外処方による費用の減少などにより、前年度と比較して 440,904 千円(19.2%)減少し、医業収益に対する割合も 22.1%と前年度より 1.8 ポイント減少している。

累積欠損金は、前年度より 2,261,890 千円増加して 22,442,586 千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は 266.7%と前年度と比較して 44.3 ポイント増加している。

なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入 3,968,849 千円、資本的収入 877,360 千円で合計 4,846,209 千円となっており、前年度と比較して 439,099 千円(8.3%)減少している。